

東大寺のお水取りが始まり、春はもうそこまで来ていますね。先日小学生の体験講座「みあときっずチャレンジ隊」が修了しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、昨年度に比べると回数も内容も縮小せざるを得ませんでした。かまどでご飯を炊いたり、平城宮跡で凧あげをしたり、薬師寺でクイズを解きながら境内を回ったりしましたが、感染予防のためできることを選びながらの活動でした。本当はもっと時間をかけて、色んなことを体験



させてあげたかった…。それなのに、修了式でのふりかえりでは、「ゲームが楽しかった。」「色んなことを体験することができた。」「楽しかった、また来たい。」など、どの子どもも嬉しいことをいっぱい言ってくれて、思わず涙ぐんでしまいました。そして私は子どもたちに、「これからの人生、辛いことも、苦しいこともあると思う。そんな時、公民館での楽しかったことを思い出してほしい。そして、人生100年時代、おじいちゃん、おばあちゃんになるまで、生きて！生きて！生き抜いてください！」と言って締めくくりました。先の見えない不安な時代を生きている子どもたちですが、しなやかな心を持ち、力強く生き抜いていてくれることを、心から願った修了式でした。



コロナ禍においても、赤ちゃんから人生の大先輩まで、今年度もたくさん公民館にご支援くださり、ありがとうございました。春です！きっといいことが訪れます。次年度も、共に歩んで行きましょう。(館長 大谷華代子)

みあときっず若者隊

みあときっず若者隊は、公民館主催事業「みあときっずチャレンジ隊」の子どもたちの活動をサポートしている大学生など若者のみなさんです。公民館と一緒に体験学習を企画し、当日は子どもたちと楽しく過ごしてくれています。

今回、若者隊として4年活動をしてきている仲西諒真さんからお手紙をいただきましたので、披露させていただきます。

<みあときっず若者隊メンバー募集中！>
毎回参加できなくてもOKです。
一緒に活動してくださる方は、公民館までご連絡ください！

メールアドレス miato@manabunara.jp

※返信が迷惑メールでブロックされることがあるので、1週間たっても返信がない場合はお電話ください。



仲西諒真

私は、都跡公民館にとってもお世話になりました。大学一年生から四年間、「みあときっずチャレンジ隊」という講座のボランティアをさせてもらいました。二ここでは、たくさんの子もたちと関わる経験をしました。初めの頃は子どもたちとどのように接したらいいのか分からず、戸惑いも多かったです。しかし、館長さんや職員の方々、ボランティアの仲間に教えてもらったり、支え合ったりしているうちに、だんだん慣れてくることができ、将来に繋がるとも貴重な経験をすることができました。

また、公民館の重要性も学びました。最初は、公民館はどのような場所か分からなかったです。しかし、ボランティアをする中で、いつでも、どのような人でも歓迎してくれる、地域の憩いの場のような場所だと知りました。これをもっと多くの人に知ってもらいたいと思います。

二ここでは経験を四月からの保育園での勤務に活かしていこうと思えます。

四年間、様々な経験をさせてもらいありがとうございました。



ふるさと「都跡」の宝



明治三十四年四月三日 『建標式』が執り行われる！

今年四月三日は、平城宮跡第二次大極殿跡に、「平城宮大極殿舊址(きょうちし)」と書かれた高さ約3、6mの標木を建てた『建標式』からちよつど120年目になります。

平城宮跡保存運動で功績のあつた棚田嘉十郎氏の本格的な活動より前の、地元都跡村有志による保存運動の初期のイベントです。

その頃の大極殿跡は、田畑に囲まれており案内板もない状況でした。そこに、目印となる標木を建てたのです。

最近見つかった当時の記録「平城宮大極殿舊址(きょうちし)建標録」によると、建標有志総代が岡島彦三、戸尾善右衛門、大沢菅二、松田利三郎、飯田岩次郎の5名、他に30名が受付・接待・祝酒折詰・休憩掛を分担。田畑の真ん中でしたので、通路の開拓や会場整備に6日間延115人が従事とあります。

また、約300名に招待状を送付、内約190名が出席。当時の新聞記事によれば、柵外の参観者を含め総勢700人以上が集まったようです。

招待者には折詰・菓子・酒等。また賓客には佐紀の9家が休憩所を提供したようです。

式は水木要太郎氏作成の順序書により春日大社が担当。

都跡村、全村挙げての大きなイベントだったようです。

写真は「奈良県名勝写真帖」からです。標木が周囲からよく見え、大極殿跡がひと目でわかるようになったと思われまふ。
五月には奈良文化財研究所資料館で、建標式関連の資料が展示予定です。初公開の資料ですので、大勢の方に御覧頂きたいですね。(岡嶋)



第二次大極殿跡に立つ『建標木』
「奈良県名勝写真帖(明治43年発行)」より



『平城宮大極殿舊址建標録』

*資料掲載はこちら

ふるさと「都跡」を語ろう会 <http://miato.seesaa.net/>

<大極殿跡についての補足説明>

現在大極殿が復元されている所は、710年に平城京遷都された時の場所で第一次大極殿跡と呼ばれています。その後都は恭仁宮、難波宮、紫香楽宮と移り、745年に平城京に再び戻ってきます。その時、先の大極殿の東側に新設されたのが、第二次大極殿跡になります。長らく第二次大極殿跡のみが大極殿跡とされて来ましたが、昭和30年代の発掘調査でやっと大極殿跡が2か所あるらしいとわかってきたようです。

◆図書紹介◆ ※公民館図書室の本です。

「たんぽぽ」

(絵・文/平山和子 監修/木村四郎 出版/福音館書店)

一番身近に、春を感じさせてくれる可愛いタンポポですが、実はとてもたくましい植物みたいですよ！

この本を読めば、あなたもタンポポ博士になれるかもしれません。

親子で楽しめる一冊です。





なかよし文庫 * 図書室の本の貸出し！

原則第3土曜日 10時～15時30分

《当面の予定日 3/27 4/17 5/15 6/19》

◇公民館3月の行事予定◇

※感染症の発生、拡大状況によっては、中止・延期になる場合があります。

- 7日 みあとこどもまつり 
- 11日 みあと高齢者学級
- 13日 コロナに負けない！“生きがい”を守る智恵
- 16日 みあと女性フォーラム
- 17日 みあと子育てサロン♪にこにこ広場♪
10:00～12:00 ※申込不要、人数制限有
移動図書館 14:00～14:45 
- 23日 みあと子育てサロン★ほのぼの★
10:00～12:00 ※申込不要、人数制限有
- 27日 なかよし文庫 10:00～15:30

※公民館にお越しの際は、検温(37.5度以下)および体調チェックの上、マスクを着用し、上靴、水分補給用飲み物持参でお願いします。体調がすぐれない場合のご来館はご遠慮ください。